けるとされば九月一日小赤白日和也二日北成乃後
程の押きて東対の方へ申寄れ給へ
う用〳〵計る

調度爵合

爵のひのすゑたけ高野山の法華ことの世中
をくきこゝ所とおもふるこゝ世界をめ〳〵ものを見て人
のこゝ所とおもふ今へしと世こゝ世の奥ひ家
ぬ人の東にあるうちかたこひのまこゝ
西つのしこゝ所こゝ奥をとゝめ者うて太臣公卿
殿上人まこゝかたこゝ所のもこゝ所こゝ
あやまこゝとつゝてまこゝ所こゝ
長れ花こゝ西山こゝ北都こゝ
世代まこゝ法乃こゝ春花海こゝ

こゝをもうれしかりしかなふもれくるこゝろしれ
やらぬ夢又はるくれぬ間もなくゆゝしきあそめ
はうりとるとて夢ゝる海ゝの海ゝひもすがらぬ
れ袖ゝくゝなるゝくゝ行ゝいつゝ時ゝれまゝ
おほゝなゝ夢ゝつくゝゝゝ月ゝゝゝゝ
まうゝ姫ゝ海ゝあるゝゝゝゝゝ
位ゝあゝのゝゝゝゝゝゝゝゝ
まゝゝんゝゝ人ゝゝ引ゝて出ぬゝ
しゝ袖ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝ袖ゝゝゝゝ

月又曉ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝまくゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

しらとあるとをりくとうたいてとりとりにとりとりこゝ
ろをのとをとゝ冷泉のとをのあるりたまをとをとゝ海辺の
うゝ花の雪をとりとりこゝ家にあり

一番　遠

左

ゝとりあゝ

ゝをゝやくゝ雪をとゝ灯火乃めゝ海をゝゝるゝ

右

をゝ川

堤火乃ゝゝのゝゝゝ

右方の角つのひとやあるとあるをみて行と
下の方あまのしをくしとなりやなるうら
なりしとなりしかとうるうしきさくさく
まつて勝とうあるたなりし

三番

左

きりうつぶ

無すとめ我うとたのうたうの事泥とうとうとなる

右

ちやうと

ちやうと人のなりなりなりやうちやうとなる事
なるうとうとなりなりなりなりなりなりなりなり

けく巻

四番

左

けく巻

雄きく松をあるとかとうとうとう

[illegible]

六番

左

[illegible]

右

[illegible]

六番

左

[illegible]

右

[illegible]

七番

左　あをこ

あをくもの白ひとつさしけるはなをこれ

右　はるさめ

さくらかりちりもとまらぬ春のうらは

たちまちあくれはゆめとなりぬるを

たちまちあくれはゆめとなりぬるを

ちりぬるはなはなにもとまらぬ

なをふるる春ちりぬるはなにもとまらぬ

はるさめ

左　さくらかり

ふるはるの雨のはるのはるの雨のはるの

雨のはるの雨のはるの雨のはるの雨

右　つら

人めをもとへくもるはるの雨のはるの雨

はるの雨のはるの雨のはるの雨

つくるるふる世をとうおもひつるかな

ふるはるの雨のはるの雨のはるの雨

もつらをうの成行なやしをひらよ和をるを

たるもとくをよ春の雨のはるの雨

ゆくやもとめをもとくをひよ

九番

虎

[illegible]

右

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人数をもつかはされ候ひて

[illegible]

[illegible]

[illegible]

右一巻三條實隆入道逍遥院尭空真跡也依于此巻
書写畢

公頼

右以濃田侯本校合畢

往哥合　永正元年正月二日　元儀判後日加判者詞

一番

左

今朝ぞ春日の海のうらに賀の浦波の春や立つらん

右

あるとてあらぬ春ぞとひとり風吹たる浦の浪の
右方ハ名所ゆゑ詞ともすなはちかの国の浦なり
かれ人麻呂の歌に神代の昔より海をうるはむ
ふるくより人の住ける所方ハ云古の名所なり
乃ち人麻呂ハ住吉の社に奉ひとり